

## 大会宣言（案）

社会に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症が、本年5月に5類感染症へと移行されました。現在もインフルエンザの流行と併せて心配な状況ではありますが、育成会の活動も少しずつ以前の状態に戻りつつあります。

そのような中、第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会を今年の長野大会に続いて通常の形で開催することといたしました。知的障害のある人とその家族が地域で暮らしていくためには、全ての人の理解と地域全体で支える仕組みが重要であると考え、本大会のテーマを「自分らしくこの地域で豊かに暮らしたい」としました。

また、分科会を2つ設定し、一つは「障害のある人をまもるために 育成会の活動を」をテーマに権利擁護を柱として本人の主体性の尊重について考えることとしました。二つ目は、「教えて！私たちの子どもの卒業後の暮らし」をテーマに、本人を支える地域の仕組みについて考えることとしました。

この大会では、障害のある人もない人も、互いの個性と能力を尊重し、支え合いながら、生活しやすい環境を整備し、地域において誰もが安心してその人らしく暮らすことのできる社会の実現に向けて、以下の項目について進めていくことを宣言します。

- 一、 知的障害のある人の主体性が尊重され、自分らしい人生を送ることのできる権利を守るための活動を進めます。
- 二、 知的障害のある人への差別や虐待などを無くしていくための理解・啓発活動をさらに進めます。
- 三、 知的障害のある人とその家族が、地域で安心して暮らしていくために必要な支援を受けられるように活動を進めます。
- 四、 知的障害のある人が地域の中での自分らしく生きていくことのできる切れ目ない支援体制の構築に向けて活動を進めます。

令和5年11月18日

第57回 手をつなぐ育成会 関東甲信越大会 栃木大会